

# 徳島県のエイズ対策の 現状と取組みについて

徳島県保健福祉部感染症対策課



# 徳島県について

## 人口

71万1988人  
(R3.10.1時点)

## 市町村数

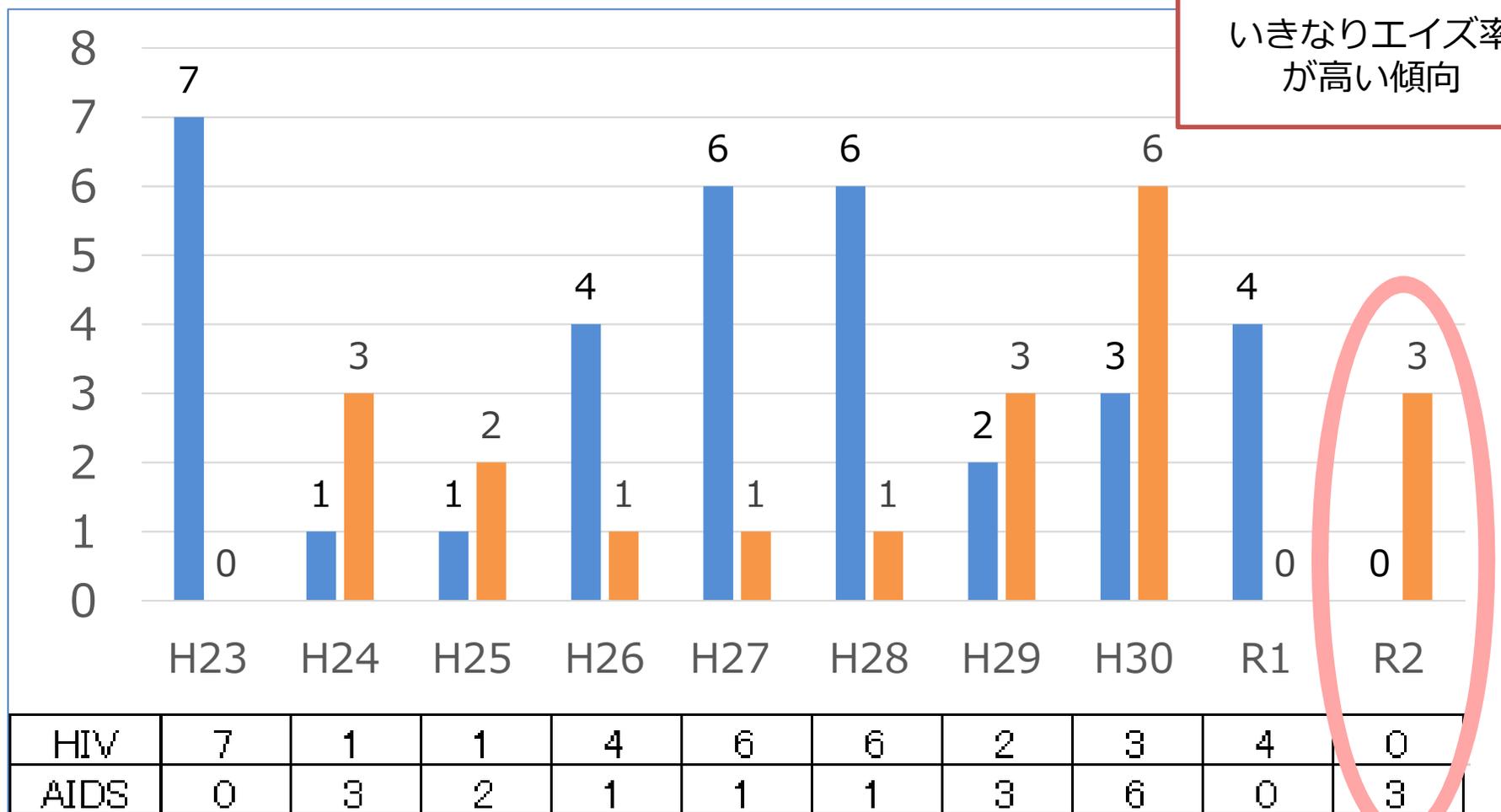
24市町村

## 保健所数

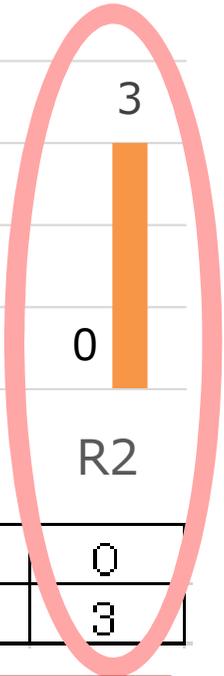
県6保健所  
(全て県型保健所)



# 過去10年の届出状況



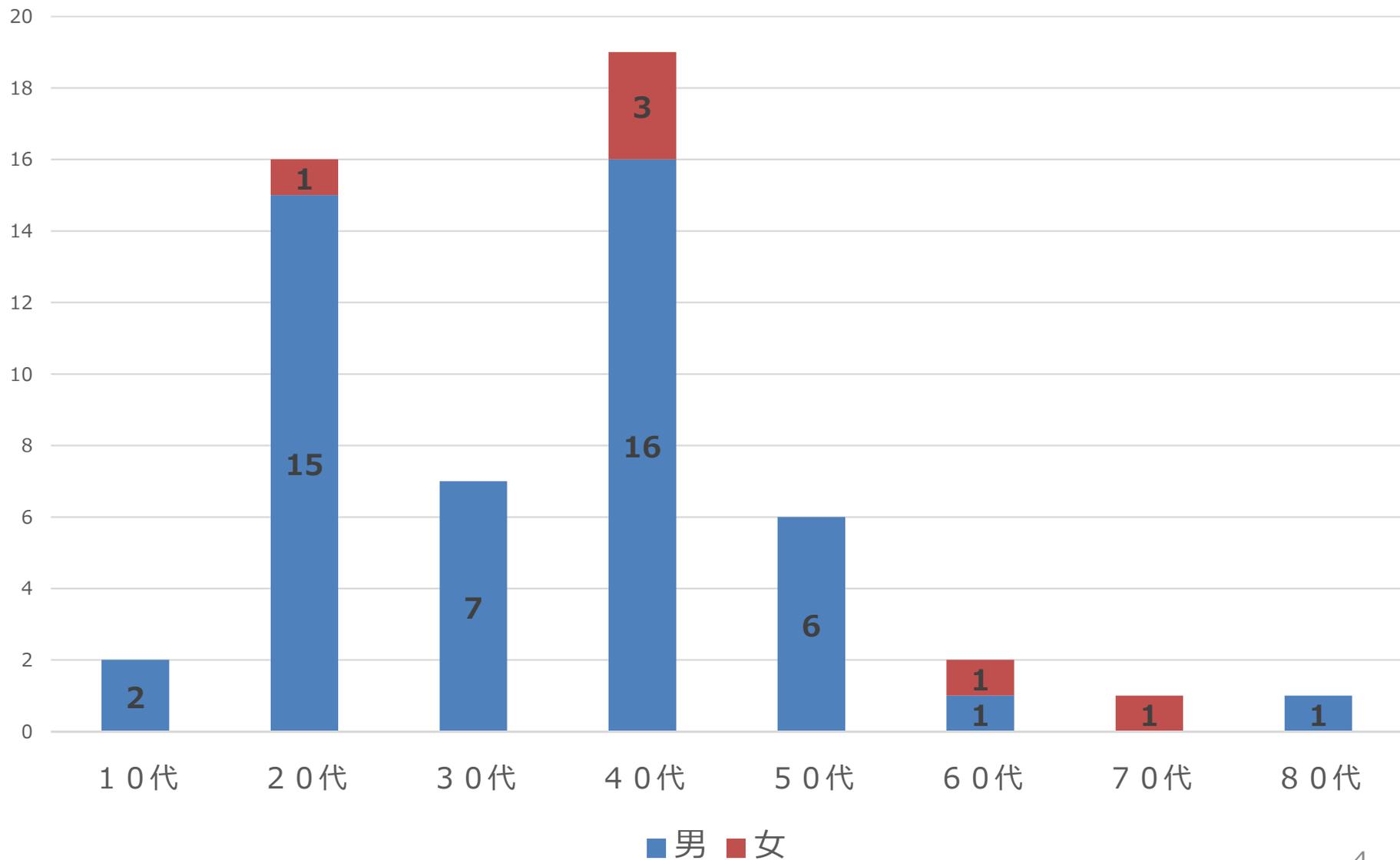
いきなりエイズ率  
が高い傾向



■ HIV感染者 ■ AIDS患者

平均  
HIV感染者3.4人  
AIDS患者2人

# 過去10年の届出状況（年代・男女別）



# 徳島県における取組み

## ①検査・相談体制の充実

- ▶ H I V 抗体検査及び相談体制について
- ▶ 過去10年の保健所におけるH I V抗体検査数・相談数の推移
- ▶ 保健所でH I V抗体検査・相談を受けた方へのアンケート調査
- ▶ 徳島県エイズカウンセラー派遣事業

## ②医療体制の充実

- ▶ エイズ治療拠点病院について
- ▶ 徳島県におけるエイズ治療の拠点病院のあり方
- ▶ 歯科分野との連携について

## ③普及啓発の推進

- ▶ 世界エイズデーにおける保健所展示
- ▶ 青少年に向けた性感染症・エイズ教育

# ①検査・相談体制の充実について

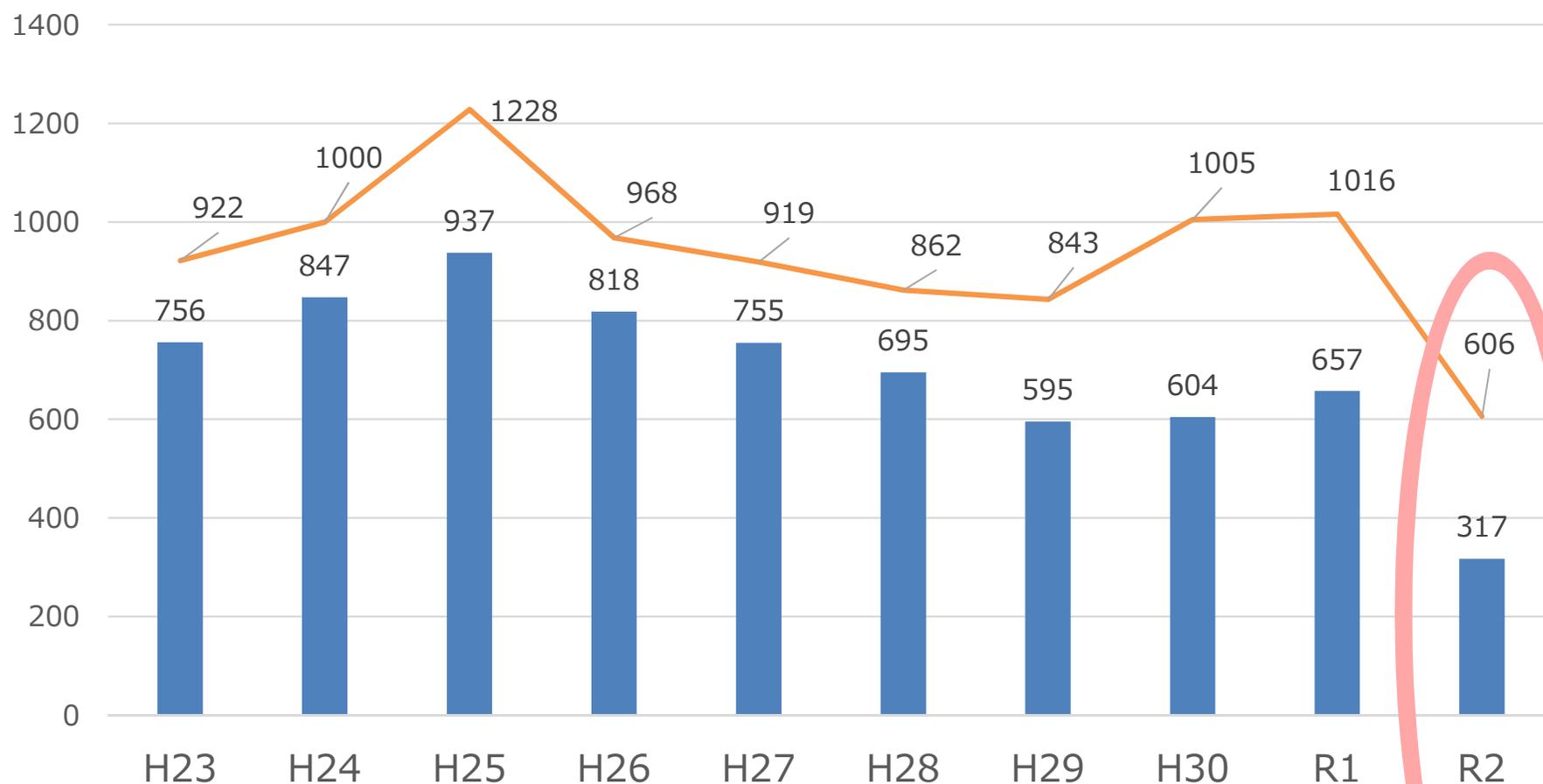
# H I V抗体検査及び相談体制について

県内保健所	定例検査実施日
①徳島保健所	毎週火曜日 ※偶数月は夜間検査実施
②吉野川保健所	第1・3水曜日
③阿南保健所	第2・4月曜日
④美波保健所	第2・4木曜日
⑤美馬保健所	第2・4水曜日
⑥三好保健所	第1・3木曜日



- 県庁内にエイズホットラインを設置し、県民からの相談に対応。
- 性感染症対策として、HIV抗体検査と同時に梅毒検査（予約者）を実施。

# 過去10年の保健所における H I V抗体検査数・相談数の推移



検査数	756	847	937	818	755	695	595	604	657	317
相談件数	922	1000	1228	968	919	862	843	1005	1016	606

# 保健所でH I V抗体検査・相談を受けた方へのアンケート調査(令和元年度調査抜粋)

## 【概要】

- ・調査方法：保健所でH I V抗体検査・相談の受検者へアンケート用紙で回答
- ・調査期間：令和元年4月～12月
- ・回答率：98.0%（受検者442名中433名回答）

## 【アンケート内容】

- ・年代、性別、保健所の検査を知った経緯、今後の行動変容、検査について等

## 【結果】

- 受検者は、男性73%、女性25%。年代は10代～30代が77%を占めていた。保健所の検査については、インターネットからが74%と最も多かった。
- 保健所での検査体制（検査に要する時間、プライバシーの保護等）については、92%が適切と回答。受検によりエイズに関する知識が得られ、行動変容を考えた方は84%いた。
- パートナーや知人等にも抗体検査を勧めるかについて、66%が「勧める」又は「検査について話してみたい」と回答していた。
- 保健所での検査は、無料匿名であることが受検者の利点になっているが、夜間や曜日を増やしての検査を望む回答も寄せられた。

# 徳島県エイズカウンセラー派遣事業

## ●目的

カウンセリングを通じてH I V感染者又はエイズ患者及びその家族等へ指針的な援助を行うため平成16年度より実施。

## ●カウンセリングの対象者

H I V感染者又はエイズ患者及びその家族、性的パートナー等

## ●カウンセリングの時期

H I V抗体検査の結果陽性告知を行うとき  
定期診察などを行うとき  
エイズを発病したとき  
その他カウンセラーの派遣が必要と認められるとき

## ●カウンセラーについて

臨床心理士等の資格を持ち、エイズに関するカウンセリングの知識及び経験のある方で県で登録されている方。  
現在5名の方が登録中。

中核拠点病院  
又は  
保健所から県庁へ依頼



県庁にて調整し、  
派遣カウンセラー決定派遣  
依頼を実施



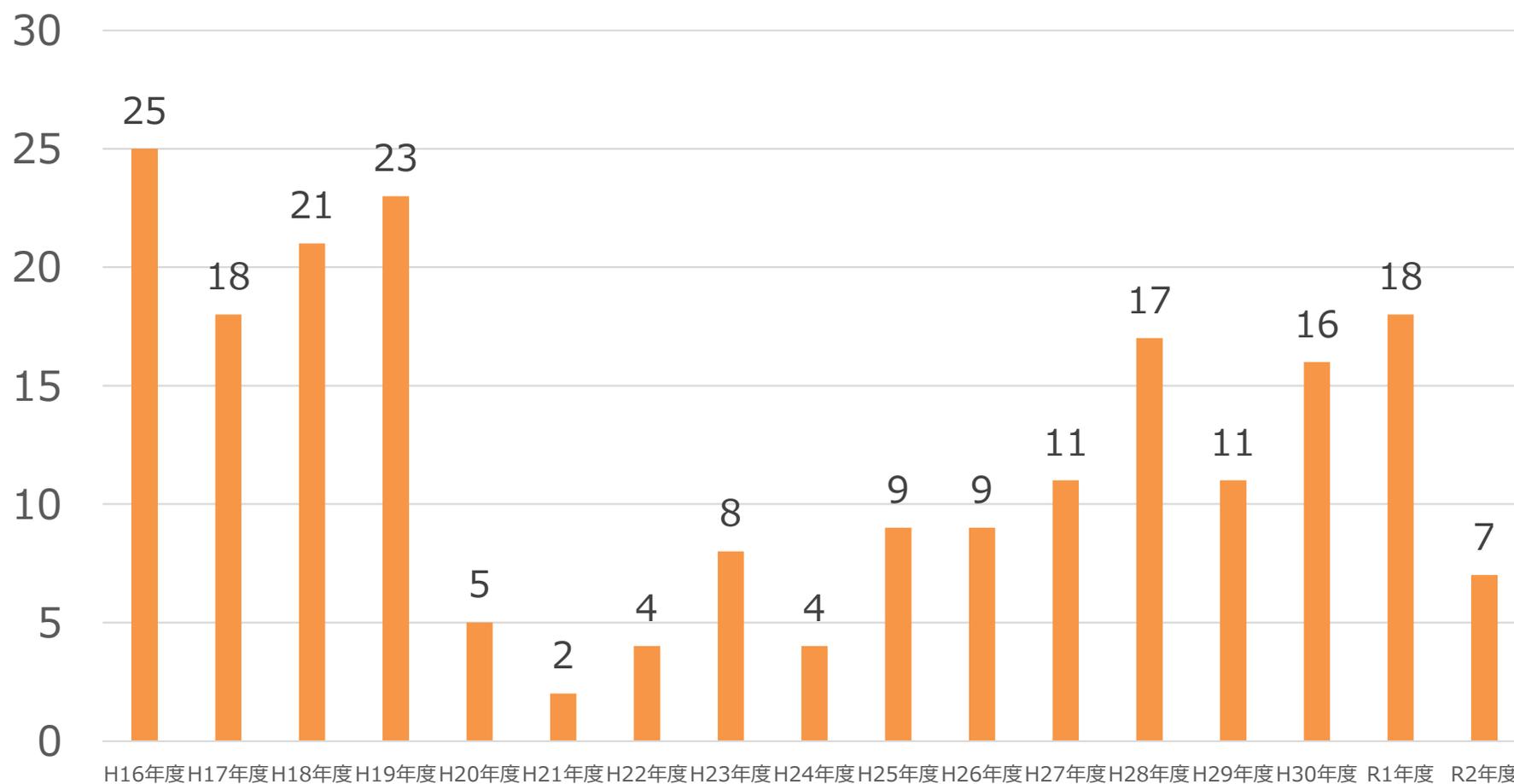
医療機関又は保健所で  
カウンセリング実施



県庁に実績報告

# 徳島県エイズカウンセラー派遣事業実績

派遣回数



## ② 医療体制の充実について

# エイズ治療拠点病院について

- 中核拠点病院：2病院、拠点病院4病院



# 徳島県における エイズ治療の拠点病院のあり方

エイズ治療拠点病院において一般的な診療を行い、中核拠点病院において重症患者に対する総合的、専門的治療を行う等、その機能に応じた診療体制を構築

## 一般エイズ治療

- ①初発患者の診断  
(必要に応じ、中核拠点病院紹介)
- ②継続治療者の治療  
(中核拠点病院からの紹介)  
\* HIV感染者の他疾患治療は、  
中核拠点病院と連携

## 体液暴露事故の対応

- ①自院又は近隣医療機関での暴露事故後の診断及び予防内服
- ②中核拠点病院紹介

## 中核拠点病院との連携

- ①エイズ診療について、常に連携を図り、診療にあたっての指導・助言を行う
- ②必要に応じて、患者を受け入れ、診療にあたる
- ③必要に応じて、体液暴露事故被爆者の診療を行う



## ③ 普及啓発の推進について

# 世界エイズデーにおける保健所展示



- 「世界エイズデー」には、保健所や公共施設にて、普及啓発展示を実施。
- 正しい知識の普及や保健所の無料匿名検査について、県民へ広く周知し、早期発見・早期治療へつなげている。

# 青少年に向けた性感染症・エイズ教育



- 新型コロナウイルス感染症流行以前には、H I V感染症を含めた性感染症に対する正しい知識の普及啓発を目的として、青少年に向けた講演会の実施や文化祭等における普及啓発パネル展を実施。

# まとめ

- 徳島県においては、いきなりエイズ率が高く、感染された方の早期発見・早期治療が課題
- 一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、保健所での無料匿名検査数が減少している



- ★保健所のH I V抗体検査体制を維持し、周知啓発により、不安に感じている方やハイリスクな方等の受検、そして、早期発見・早期治療へつなげていく。
- ★中核拠点病院や拠点病院、エイズカウンセラー等の関係機関と連携し、感染された方へ心理的なサポートや医療の提供を継続していく。

御静聴ありがとうございました